



月のもようを見てみよう



月の表面にある灰色のもよう、みんなには何に見えるかな？

● 用意するもの

☆ 特にありません

※ 双眼鏡や望遠機能付きのデジタルカメラがあると観察しやすくなります

！ ちゅうい！

・必ずおうちの人と一緒に観察しましょう！

・道路や高いところなど、危ない場所で観察してはいけません！



月をよく見ると、白い部分と灰色の部分があることがわかります。この灰色の部分は「海」と呼ばれています。日本では、うさぎがお餅をついている姿と言われていますが、中国ではカニ、南米ではロバなど、国によって見方がちがっています。皆さんも月を観察して、灰色の部分が何に見えるか想像してみてください。月のもようの観察は、満月の直前(月齢13~15 ぐらい)がおすすめです。道具を使わなくても観察できますが、双眼鏡を使うとよく見えます。試してみましょう。



うさぎ

カニ

ライオン

ロバ

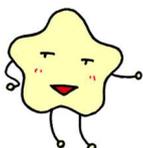
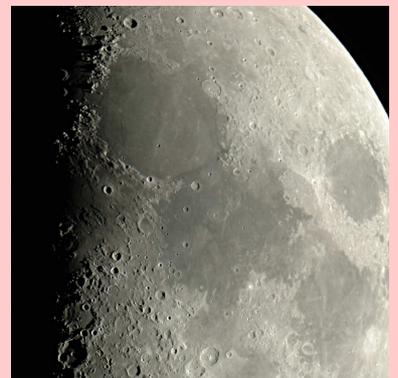
読書

● しらべてみよう！ ●

月の灰色の部分は海と呼ばれていますが、残念ながら水はありません。白い部分に比べて、クレーターが少なく、平らな地形が多いところです。これは、巨大な隕石が衝突して、噴き出した溶岩が冷えて固まるときに古いもようが消えてしまったためです。

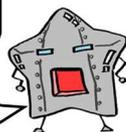
① 2日連続で月を観察すると、昨日と同じ場所に月が見えるかな？

② 満月の日、どうしていつも同じもようが見えるのかな？



アポロ11号が着陸したのは静かの海だったね！

2024年までにもう一度月面着陸する計画が進行中デス



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

TEL 0795-23-2772

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>

